

O's News

2022

8



脊椎脊髄疾患の最新治療

脊椎・脊髄センター長 脳神経外科部長 山本 慎司

脊椎・脊髄の疾患に対する治療の進歩も目覚ましいものがあり、これまで治療することが困難であった病気が治療できるようになったり、これまで行っていた手術がさらに安全に行えるようになったりしています。

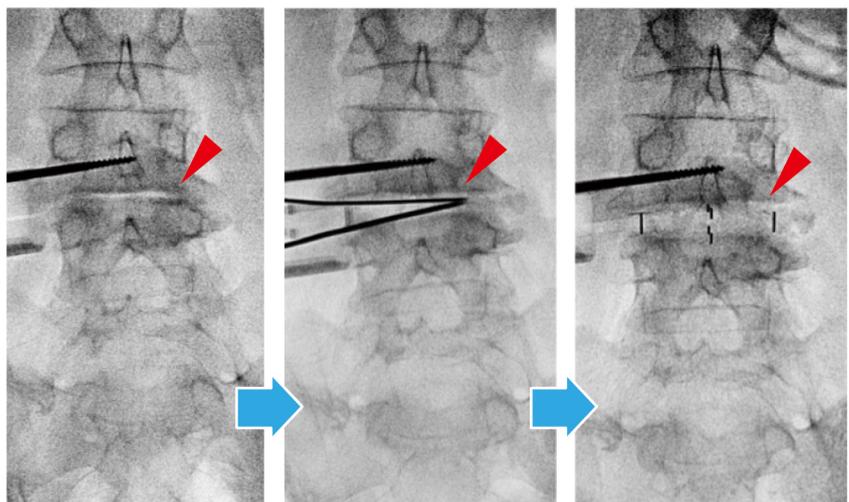
頸椎や腰椎などは複雑な構造をしており、一般的なMRI撮影では診断が難しい箇所がたくさんあります。新しいMRI撮影方法では空間解像度も高く、これまで見逃されることが多かった非常に小さな病変や脊柱管の外の病変を見つけることが可能になりました。

以前は高齢になると手術治療をあきらめて薬物治療などで何とか対応することが多かったのですが、「人生100年時代」と呼ばれるように社会の高齢化と健康寿命の延長もあり、現在では高齢の患者さんであっても全身状態が安定していれば手術治療を行い、できるだけ症状を軽減し生活の質を向上させることが一般的になってきました。そのためには体に負担をかけないように、小さな創で内視鏡や顕微鏡を用いて手術を行うことが当たり前になっています。例えば腰椎椎間板ヘルニアに対する手術は、局所麻酔でコンドリアーゼと呼ばれる薬物を椎間板に1cc注入することで治療したり(ヘルニアコア注入療法、所要時間約10分)、局所麻酔で直径8mmの内視鏡を用いてヘルニアを摘出したり(全内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術、所要時間約1時間)することが一般的になっています。また新たな疼痛治療薬もどんどん登場し、これまではふらつきや吐き気などの副作用が強くて使用できな

かった患者さんも新たな治療薬で痛みの軽減が得ることができています。胸椎や腰椎の加齢に伴う変形や圧迫骨折後の変形などに対する手術は、従来は後方より大きく切開し、複数の骨を削り金属固定具を用いて変形矯正を行っていましたが、出血量も多く術後の回復に長時間を要することが問題でした。最近では脇腹に小さな切開を行い、変形した背骨に対して人工骨などを用いて安全に矯正することが可能となりました。背筋を全く痛めることなく、手術時間も短く出血もほとんど伴わないため、高齢の患者さんでも安全に治療することが可能になりました。

手術方法の進歩だけでなく、新たな診断技術や治療法も登場しており、本院ではこれらを駆使しできるだけ患者さんに負担をかけずに早く症状を改善する工夫をしています。脊椎・脊髄の病気でお困りの方は一度専門医に相談されることをお勧めします。

腰椎側方進入椎体固定術、所要時間60分



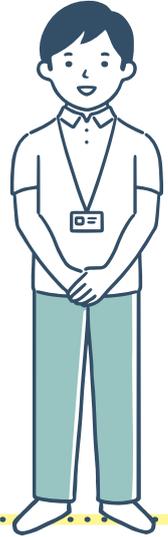
腰椎すべり症による
難治性腰痛下肢痛

人工骨挿入によるすべりの整復と
神経除圧により腰痛下肢痛が消失。

運動の適応と疲労

理学療法室 副科長 片倉 忠紀

理学療法とは物理的手段(物理療法・治療的運動)を用いて機能障害を治療する業務となります。その目的は基本的動作の回復であり、基本的動作とは「起き上がる・座る・立つ・歩く」を意味します。動作の障害は関節の動きや筋力、筋持久性や協調性といった運動機能に問題があるため、その治療とともに動作の練習を行います。当院の特色としては入院直後の超急性期から医師の指示により理学療法が開始されます。早期からの実施に対してメリット面だけが取り沙汰されていますが、闇雲に運動負荷をかけることには相応のリスクが伴います。その1つとして「疲労」が挙げられます。疲労というと筋の疲労が思い浮かびやすいと思われませんが、脳や神経など各臓器レベルで認められます。疲労が積み重なると本来良くなるはずであったものを阻害してしまう因子となります。当院では適切な時期に適切な量を実施することを心掛け、疲労を蓄積せず効率よく回復を促していけるよう日々の診療をおこなっています。



当院におけるコロナ感染症対策について

感染防止委員会
事務局 副看護部長 吉原 朋子

新型コロナウイルス感染症の国内発生から2年以上が経過しましたが、いまだ収束の見通しがたっておりません。この間、当院でも様々な対策を講じて院内感染予防に取り組んで参りました。

その1つとして、入院患者さま全員を対象として、入院時コロナ検査(LAMP検査もしくはID-NOW検査)を実施しております。どちらも核酸増幅法という技術によってコロナ遺伝子を抽出する検査で、院内機器で即日の結果を確認できます。もちろん100%大丈夫というものではありませんが、患者さまの安心材料の1つになればと考えております。

さらに面会制限も継続して行っております。入院されている患者さま、ご家族さまには多大なご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

私たちは今後も情報をアップデートしながら感染対策を徹底して、患者さまが安心して当院での入院生活をお過ごしいただけるように努めて参ります。



二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子



はづき
8月(葉月)

白い入道雲に照りつける夏の日差し。暑い毎日が続きます。熱中症対策にも、朝ごはんをしっかり食べ、元気に過ごしましょう！



十二節気
大暑
たいしょ

8/2~6(第三十六候) 大雨時行 / たいうときどきふる

大きな入道雲、突然の夕立、夏の風景ですね。8月5日は8(やっ)5(こ)で、奴の日、夏の食卓に欠かせない「冷奴」に親しむ日なのだとか。江戸時代に武家の奉公人を「奴」と呼び、その奉公人が着ていた半纏(はんてん)に染め抜かれた正方形の紋を四角い豆腐に見立てたことから名付けられたそうです。



十三節気
立秋
りっしゅう

8/7~12(第三十七候) 涼風至 / すずかぜいたる

立秋を迎え季節は少しずつ秋へ。まだまだ暑い毎日ですが、気分的にちょっとひと息…♪夏から秋にかけて旬の「太刀魚」。上品な味の白身は塩焼きや唐揚げに。銀色に光る細長い姿が刀に似ているから「太刀魚」。また頭上の獲物をねらう為、立って泳ぐから「立ち魚」という説があります。



朝夕の風に少しずつ秋の気配を感じます。

8/13~17(第三十八候) 寒蝉鳴 / ひぐらしなく

夏の終わりを感ずる蝸(ひぐらし)が鳴きます。ご先祖様の霊を送り出す「送り火」精霊流しが各地で行われ、京都の如意ヶ嶽では山々に「大」「法」「妙」「舟形」「図」の形のたいまつ「五山の送り火」が開かれます。



8/18~22(第三十九候) 蒙霧升降 / ふかききりまとう

森や高原の水辺では朝夕霧が立ちこめる季節。夏から秋に美味しい茄子♪和、洋、中どのような料理にも大活躍ですね。西日本の呼び名「なすび」。奈良時代に渡来、昔は酸っぱい味だったことから「中身がすっぱい実」→「なかつみ」→「なすび」となり、「奈須比」となりました。「夏の実」だから「なすび」とも。「なす」の呼び名は江戸時代、なす好きだった徳川家康がきっかけに♪



十四節気
処暑
しよしょ

8/23~27(第四十候) 綿柎開 / わたのはなしべひらく

綿の実がはじけて中から綿花(コットンボール)が顔をのぞかせる頃。シャキシャキとした食感のみずみずしい梨。「幸水」「豊水」「二十世紀」など様々な種類が味わえます。



ぶどう、すいか、梨など、夏の果物はエネルギー補給にぴったり♪

8/28~9/1(第四十一候) 天地始肅 / てんちはじめてさむし

暑さの勢いがやっと落ち着き、秋の気配を感じます。「萩、桔梗、葛、藤袴、女郎花、尾花、撫子/秋の七草」千年以上も前に万葉集で詠まれた花が今でも日本で愛でられていることに感動しますね。



観葉植物「モンステラ」 サトイモ科 原産:熱帯アメリカ 和名:ホウライショウ

切れ込みの入った大きな葉が印象的なおしゃれな観葉植物「モンステラ」。つる性で耐陰性もあり丈夫で育てやすい人気の植物です。特徴的な「切れ込み」は、成長した大人の葉が、茎の下の方に生える新しい葉に、光があたりやすいようにする為のものだとか♪茎の途中から「気根」と呼ばれるひげ根を出しながら大きくなります。全体が大きくなりすぎたら5~7月に剪定を。



外来担当医表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	河田
2診	午前	高橋〈顔〉	砂田	角田	富士井	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊椎・脊髄外来 山本	角田	—	脊椎・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	脳神経内科 小坂田	脳神経内科 赤谷	脳神経内科 小坂田 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脳神経内科小坂田〈FUS〉	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 脳神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

※毎週金曜日13:00～ 7診 麻酔科 鈴木

(2022.8)

※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 6診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.33

中村クリニック 外科・胃腸科

院長:中村 守

【認定資格・所属学会】医学博士、日本外科学会認定医

【診療科目】外科 胃腸科(消化器科)

【住 所】明石市大久保町ゆりのき通1-4-2 オーズタウン
メディカルモール3-102

【電 話】078-938-0477

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日



中村院長からのメッセージ

消化器外科出身の私は、ケガや火傷の治療、消化器疾患の治療はもちろん、肩こりや腰痛などの身体の様々な部位の痛みの治療にも力を入れています。もちろん、私一人にできることは限られています。脳神経外科、神経内科、脊椎外科の患者さんは大西脳神経外科病院に紹介しています。皆さん、満足して帰って来られます。

No.98

ちかみ 千頭医院

院長:堀松 徹雄
副院長:堀松 寛子



院長



副院長

【認定資格・所属学会】(院長)循環器内科専門・医学博士:日本内科学会認定 認定内科医、日本心血管インターベンション治療学会認定医

(副院長)糖尿病内科専門・産業医:日本内科学会認定 総合内科専門医、日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医、認定産業医

【診療科目】循環器内科、糖尿病内科、一般内科、訪問診療

【住 所】明石市貴崎4-5-10

【電 話】078-922-2403

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
16:00～18:30	○	/	/	/	○	/	/

13:00～16:00 訪問診療・エコー検査(要予約)

休診日:木曜、土曜午後、日曜、祝日

※糖尿病専門医による診察をご希望される場合は、午前外来を受診ください。



堀松院長からのメッセージ

循環器・糖尿病内科を中心に、2診体制で診療しております。訪問診療も行います。宜しくお願いたします。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘

